

# 記入例（形式1）-②：代理人による申請

※記入したものが、そのまま証明書になります。

形式 1

## 在留証明願

令和 元 年 5 月 1 日

在香港日本国総領事 殿

申請者氏名 証明書を 使う人	<b>証明 花子</b>	生年 月日	明・大 昭・平・令	<b>35</b> 年 <b>3</b> 月 <b>22</b> 日
代理人氏名 (※1)	<b>証明 次郎</b>	申請者との関係 (※1)	<b>父</b>	
申請者の 本籍地 (※2)	<b>東京</b>	(都・道 府・県)	<b>千代田区霞が関2丁目2番地1</b> (市区郡以下を記入してください。※2)	
提出理由	<b>不動産登記手続</b>	提出先	<b>東京法務局</b>	

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していることを証明してください。

「漢字」または「カタカナ」どちらかで記入してください。

申請者(代理人)署名

現 住 所	日本語:	<b>香港, 英皇道〇号, 〇〇〇, 第〇座, 〇階, 〇室</b> <b>ホンコン, キングスロード〇, 〇〇〇, タワー〇, 〇フロア, フラット〇</b>
	外国語:	<b>FLAT 〇, 〇/F, TOWER 〇, 〇〇〇, 〇, KING'S ROAD, HONG KONG</b>
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)		(令和・平成・昭和) <b>25</b> 年 <b>4</b> 月

(※1) 本人申請の場合は記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

## 在留証明

証 第 一 号

上記申請者の在留の事実を証明します。

令和 元年 5 月 1 日

在香港日本国総領事館

総領事 外務 太郎

公

印

(手数料: )